



島中だより

【今年度の重点目標】

新しい社会を
創り出す
能力や態度の育成

令和7年9月30日 第6号

学校ホームページも随時更新中!



全員完歩・完走を達成 その裏では悔しさも

校長 梶原 大

9月12日(金)に耐久遠足が行われました。天候にも恵まれ絶好の遠足日和になりました。開会式には夏井村長様が来校して下さり、生徒にあたたかいお言葉を掛けてくださいました。この遠足では、全員が時間内にゴールするのが大きな目標ですが、今年は全校生徒24名全員が完歩・完走をすることができました。ゴール地点では、先にゴールした生徒たちが、即席横断幕(右写真)を作って、ゴールを迎え入れてくれていました。



しかし、その裏で私は悔しさもありました。私は密かに3段階の目標をもって臨んでいました。第1目標は「時間内に戻ってくる」で、第2目標は「3時間30分以内に戻ってくる」、第3目標は「歩くことなく完走する」でしたが、第3目標は達成できませんでした。折り返してからラスト5kmの下り坂で悲鳴を上げていた太ももが限界に達して、遂に走るのをやめてしまいました。

思い返せば1回目に赴任した時はまだ40kmの耐久遠足で、6年間のうち5回くらい出場し完走していたと記憶していますが、今回は目標達成が叶わず、トレーニング不足を実感しました。ただ、「全力を尽くす。自分を大切にする。」という普段から生徒の皆さんにお願いしていることを、皆さんと共に実践できたのではないかと思います。

そして、とてもうれしかったのは、沿道でたくさんの村民の方々や、過去にお世話になった方々から、「校長先生 頑張れー」と声を掛けて頂いたことです。走る勇気と元気を頂きました。生徒の皆さんもきっと皆様の声援に後押しされたことと思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

閉会式後に行われた学活では、耐久遠足の反省をしつつ、小野寺教育長様から頂いた差し入れをみんなでおいしく食べて、疲れを癒すことができました。様々な方々から支えられている島牧中学校を再認識した1日でした。

下は、反省アンケートで「最後まであきらめず取り組むことができたか?」に対しての理由です。「とてもできた」が83%で、「できた」と回答したのが16%でした。みんなよく頑張りましたので、自分で自分を褒めてほしいです。

そして、今週10月4日(土)は学校祭です。またまた、みんなで全力を尽くします。

【1年生】

〇〇さんと一緒に取り組むことができたから。 早くゴールして、水分補給したかった。
友達と一緒にだったし、諦めない心があったから。 最後まで走り切ってみたかったからです。
できたから。 特に理由がないです。 足が痛かったけど最後まであきらめずにゴールしたから。
全部歩かず、できるだけ走れたからだろ笑。 怪我をしたけど完歩できたから。
疲れたけど完走できたから。 最後まであまり弱音を吐かずに走れたから。

【2年生】

頑張りがかったから。 ゴールに辿り着けたから。
完歩できるか不安だったけれど無事に完歩することができたから
最後まで〇〇さんと〇〇さんと全力で時間が間に合うように諦めずに取り組むことができた。
階段から落ちた時に痛めた場所がとてもいたかったけど20kmはしれたから。

【3年生】

一人ではなかったから。 足を止めなかった。 いけるって言い聞かせたから。 長く走れた。
ゴールできたから。 〇〇くんが一緒にいたので諦めずに走り切れました。
足首痛と腰痛に耐えながらはしりきったから。 〇〇さんと一緒に走ったり歩いたりしたから。
もうやめたいと思ったりしなかったから。

耐久遠足 ～全員完歩、完走！！～

12(金)、晴天のもと今年度の耐久遠足が行われました。スタートとゴールは学校で、14km コースは大平トンネル手前、20km コースは泊地区運動公園を折り返し地点とするルートでした。心地よい風に吹かれ、島牧の自然を感じながら、生徒たちはそれぞれの距離に挑戦しました。

途中、疲れを見せる場面もありましたが、仲間と励まし合いながら進む姿が印象的でした。今年最大の成果は、参加した全員が無事に完走・完歩できたことです。ゴールでは達成感に満ちた笑顔があふれ、仲間との絆や自信を深める貴重な一日となりました。



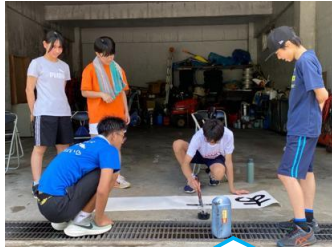
元気よく一斉にスタート！これから目標の距離を完走・完歩することを目指します。



仲間と声を掛け合いながら、一步一步前へ進みました。



20km を先頭で帰ってきた2人、なぜか手をつないでゴール！真剣に走ったはずなのに、最後はちょっとしたパフォーマンス？



ゴールした生徒たちが、待ち時間を使って仲間への応援メッセージを込めた横断幕を作成。思いやりを感じます。



手作りの横断幕を掲げて、みんなで盛り上げるラストシーン。最高のフィナーレになりました。

地域貢献、郷土愛について講話を聴きました

19(金)、事業構想大学院大学の客員教授である若林慎一先生による特別授業が行われました。若林先生は、島牧村地域おこし協力隊の活動についてアドバイザーをされている方であり、全国各地で自然体験活動を通じて地域の魅力を伝える活動もされています。講話では、一次産業の担い手不足が私たちの食生活にどのような影響を及ぼすかという視点から、「このままでは、将来的に昆虫食に頼らざるを得なくなるかもしれない」という問いかけがありました。この話題に、生徒たちは強く反応し、「本当にそんな時代が来るのか？」「今の食生活を守るために何ができるのか？」と考えを巡らせていました。



生徒たちは、若林先生のお話を聴いてふるさと島牧の魅力を再認識していました。

学校祭に向けて ～準備活動が大詰めです！～

10/4(土)に実施する学校祭に向けて、24(水)から本格的に準備や練習活動が始まっています。当日は生徒たちが創り上げた成果を、たくさんの皆さんにご覧いただけますと幸いです。皆さんのご来場を心よりお待ちしております。

現生徒会役員最後の仕事が、この学校祭の実行委員会運営です。最後まで全校生徒を引っ張っています！



全校劇の練習風景。台本を片手に、セリフや動きを確認しながら覚えていきます。

第36回 島牧中学校学校祭 令和7年10月4日(土)
テーマ『全力！！笑顔満祭 島中祭 ～みんながPAL～』
【開場】8:20 【開演】8:40 【終了予定】11:55